



発行
熊本県立苓北支援学校
〒863-2503 天草郡
苓北町志岐1217番1
Tel 0969-35-1780
校長 宮本 信高

ホームページ
QRコード



「コロナ禍の一年から考える」

四月のスタートから早くも一年が経ちました。その時点では、「今年はコロナ禍も明けて、あんなことを、こんなことを」と希望的に考えていましたが、状況はそう簡単ではありませんでした。ただ「災い転じて・・・」ではありませんが、新たに整ったものや改めて考え直すことができたものもいくつかありました。

校長 宮本 信高



昨年度から国の施策「GIGA(ギガ)スクール構想」として、「一人一台端末」や「ネットワーク環境」の整備の他、アプリの導入等が急ピッチで進められ、本校でも児童生徒全員がそれぞれの端末を使って学習できる環境が整いました。以前からあった「交流Ⅱ直接会うか手紙等のやりとり」、「体験・見学Ⅱそこに行つてするもの」といった既成の概念にとられない自由な学習の構成が可能になり、これまで障がいの状態や体調、社会インフラ等の制約から、「出られないからできない」となっていたものが「出られなくてもできる」に変えられるようになりました。ここで考えたいのは、手段の有効な活用と目的についてです。本校の子供たちの学習においては、単に見る・聞く以外にも「触る、動かす、滑らす、つかむ・・・」などの多様な感覚や動作等とおして得られ、感じられたものからその子供の理解を高めていくことが必要になります。「実物」「直(じか)に」の強み、「アナログ」の優しさなどを押さえた学習素材・手段とデジタルとの適切な組み合わせが必要になると思っております。では、「それを実現するためには」ということですが、そこには、学習の目的や目標が明確化されていることが、前提条件としてあると思っております。授業の営みを「弓矢」に例えた時に、的がどこにあるのか、どの的を狙うのかを押さえずにむやみやたらに矢を放っている先生方を目にする場合があります。一年間の評価として「どっちに矢を放ちました」とか「矢を何本放ちました」というような評価ができるためには「的の中心からどのくらいの距離に何本当たりました」というような評価ができるためにはやはり的をしつかり見据えている必要があります。この的に値するものが「事をなす目的、到達すべき目標」なのだと思えます。ただ、「この目的や目標についても適切な見定めが必要であり、そのためには、日頃から子供たちの暮らしに関わり、支えておられる方々の見方や考え方も参考にするべきであると考えています。「教育内容の充実」のために取り組むべきは、保護者やまやう療育園の職員さん方と「共に育む」関係や仕組みを積み上げていくことからのだということを変更して感じています。

御卒業おめでとうございます!

コロナ禍の中、はまやう療育園、保護者の皆様の御協力により、卒業生を新校舎に迎えて、3月15日(火)卒業証書授与式を執り行うことができました。オンライン授業では、元気な姿を見せてくれていたのが対面したのは、ほぼ3ヶ月ぶりです。小学部訪問教育の尾形亮弥さん、中学部の花田秀昭さん、竹下千洋さん、高等部3年の橋本優子さん、高橋真澄さん、小森龍貴さん、それぞれにすてきな笑顔を見せてくれました。

卒業生6人です



令和4年度の主な行事

- 4月 8日(金) 就任式・始業式
 - 11日(月) 入学式
 - 23日(土) 授業参観、PTA総会
 - 6月13日(月) 新校舎お披露目会(仮称)
 - 10月 8日(土) 学習発表会、同窓会活動
- 令和5年
1月15日(日) 授業参観、PTA研修会
※新型コロナウイルス感染症の影響で
変更になる場合があります。御了承ください。

学校評価

学校評価についてアンケートへの御協力ありがとうございました。今年度は、質問項目を大きく見直し、回答しやすい具体的な内容にしました。保護者からは全般的に高く評価いただきましたが、交流及び共同学習、学校取組の情報発信について、不明との回答がありましたので、丁寧に説明していく必要があります。はまやう療育園からは9人の職員の方から回答いただきました。情報の共有がなされていないとの厳しい御指摘がありました。次年度は、コロナを前提にしながら、より確かな連携協力体制を築かなければなりません。学校運営協議会委員の方からは「コロナ禍の中、工夫して頑張っている」との意見もありましたが、「現在及び将来の生活の充実のため協力してほしい」や「専門性を高めるため課題や取組を具体化すべき」等の助言もいただきました。

学校評価及び学校評価アンケートについては3月中旬に学校ホームページに掲載します。詳しくはそちらをご覧ください。

